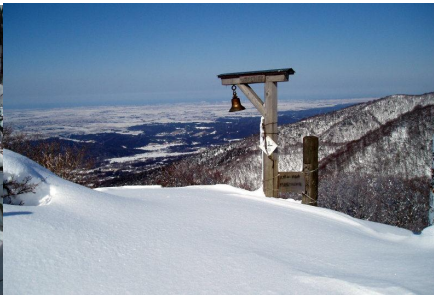


宝珠山山行記録



雪倒れ道

山頂

ランチジャー

目的地	宝珠山	期 日	平成21年1月28日(木)・終日快晴
山人	笠原正雄・森山トシ子	特 記	初めての五頭山塊。前日に降雪、ノントレースのかんじき山行

地名	時刻	記 事
与板発	午前6:00	稲荷町過ぎで靴を忘れたことに気付き一度戻る。見附大橋が開通になった。迂回するうちに道を間違えてR8を逆走し30分ロスした。五泉を經由して安田に向かう。
草水口	9:00発	R49、馬下橋手前のコインスナックに登山口標識がある。建物の中でゆっくり準備。裏手の登山口に登山カード記名棟がある。雪混じり道から始まる。快晴ではあるが、風が冷たい。気温は氷点下であろう。
休み石	9:20	登路は殆ど雪となる。腰を降ろすに丁度良い石がある。しっかりと案内看板。
かんじき歩行へ	9:50	2本目の送電線下を通る。鉄塔があり、ここでかんじきを履く。
大山△点349.4	10:15	展望が開けて、山頂が望める。右下の阿賀野川から吹上げる風が冷たい。
大沢尾根樹林	10:45	広尾根の台地、GPS設定ポイントとの誤差18m。阿賀野川が見下ろせる。しばらくは尾根樹間を進むが、尾根が広くなると雪倒れ木で進路が不明となってくる。2~3度行きつ戻りつして、GPSと地図を確認しながらの藪コギとなる。
ひっじ平	11:05	立ち木がとぎれて、看板を見つけ、一安心。この先も道が現れたり、不明となったりで、時々藪コギを余儀なくされる。
かじか清水	11:35	やや広い空間で左に阿賀野川、新潟平野が広がっている。水場看板は左下を指している。山頂オベリスクが見える。その先に五頭連峰が続いている。
合羽着る	11:45	カッパズボンのみ着用で歩いてきたが、寒くなってここで上着を着る。積雪が多くなって来て、直線が高みを目指すことが出来るようになった。
八咫柄山	12:00	丸山口登山道との合流点。ここから急降下で鞍部へ。時々道を雪倒れが塞ぐ。
宝珠山頂	12:15	山頂直下は急登。雪の藪で2本杖を横にしてコザキながら直登する。360度見渡せる。大蛇山への道が続く。狭く、風も冷たいので5分程で少し下り、風を避けて西側樹林斜面に降りる。ピッケルで穴を掘り、テーブルとベンチを作る。水割缶2本とランチジャーで昼食。日差しを受けて暖かい。後続女性2人が上の尾根を壺足で登って行く。すぐに下って行ったが、トレースの札を述べて行った。
下山開始	13:45	風も穏やかになった。尾根に上がり、八咫柄山に登り返す。この先、登りトレースに従い下るが、時折新雪を踏んで最短距離を下る。送電線鉄塔下でかんじきを脱ぐ。
歩行終了	15:25	帰路は馬下橋~R290~大沢峠を經由して帰宅する。こちらの経路のほうが良い。

2度行動をともにした加茂の高橋夫妻と同行する予定だったが、体調不良とのことで2人での山行となった。従ってこの山に拘らずとも、二王子岳が頭に浮かんだ。しかし、前日の降雪と平日であることからトレースは期待薄である。そこで当初計画通りこの山とした。予想はしたが入山者は記述のほかに無く、雪倒れ木で結構難儀をした。